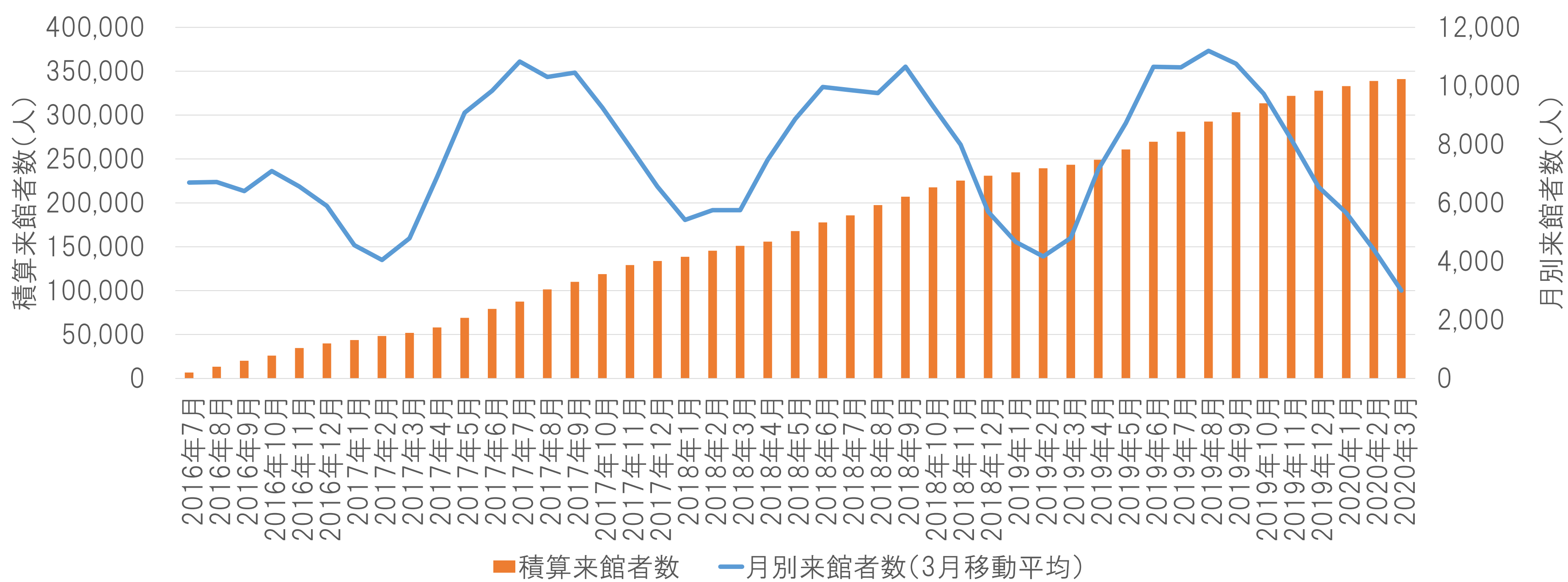


福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」は、放射線に関する正確な理解を促進し、また、原子力災害を経験した福島県の現状を伝えることを目的とした展示室等を備えた施設として、2016年7月21日にオープンしている。「コミュタン福島」では、これまでに多くの来館者を受け入れており、以下ではその状況について報告する。

コミュタン福島 来館者数

2016年7月21日から2020年3月31日までの総来館者数は340,979人となった。オープン後、初めて年度を通じて運営した2017年度における総来館者数は99,139人、2018年度は92,348人、2019年度は97,523人であり、いずれの年度も、目標である年間総来館数の80,000人を達成した。

来館者数には時期によるばらつきが見られ、学校団体等の来館が多い5月、6月及び9月から11月並びにイベントを多く開催している7月及び8月については来館者が多く、冬期については来館者が少ない傾向となっている。



コミュタン福島来館者数(2016.7.21～2020.3.31)



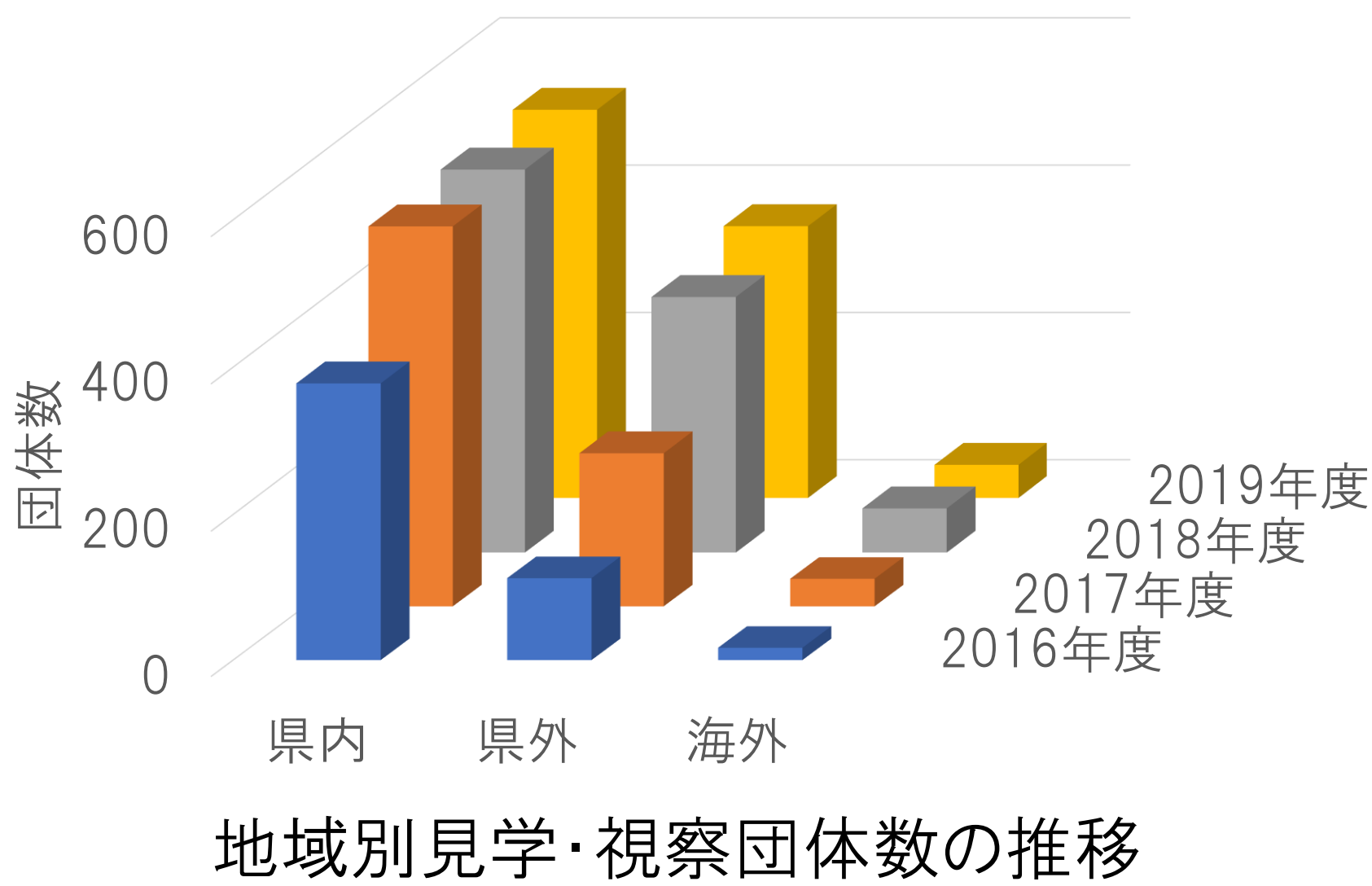
来館30万人達成記念セレモニー

学校団体・一般団体等の見学・視察

学校団体見学及び一般団体等視察の実績は、2016年度が508団体13,866人、2017年度が764団体23,988人、2018年度が921団体25,616人、2019年度が941団体26,915人であり、増加傾向が見られる。

【県内・県外・海外別】

見学・視察団体のうち県外団体の占める割合の増加傾向が見られる。これは、教育旅行誘致キャラバンによる県外教育委員会、学校、旅行会社へのPRや県外イベントでのアウトリーチ活動等による成果であると考えられ、また、旅行会社企画のツアーにおける訪問先としての継続的な利用も要因の一つである。

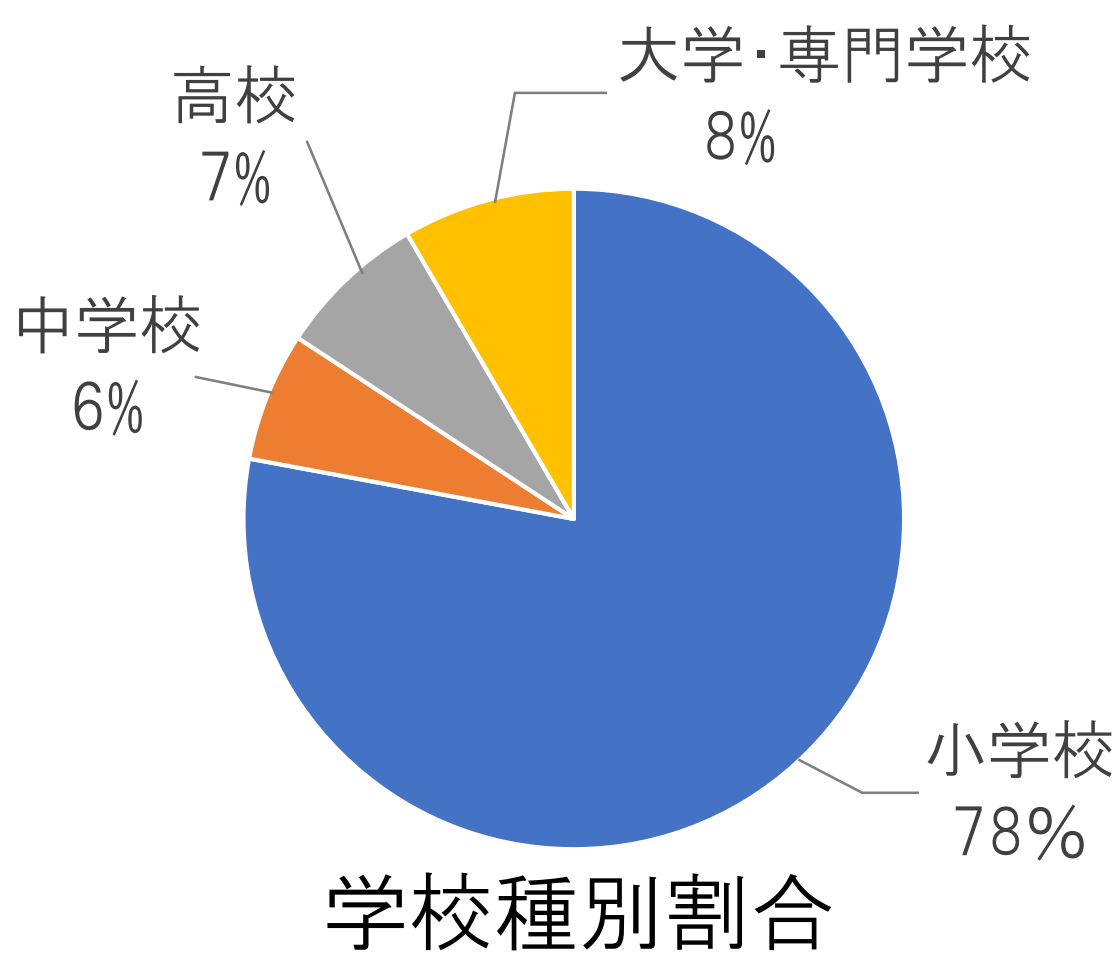


ミスインターナショナル視察

【学校種別割合】

学校団体の内、小学校団体の占める割合が78%であり非常に大きくなっている。これは、コミュタン福島展示室は小学校高学年をターゲットとした設計であること及び小学校団体来館に対する来館支援策（貸切バス代補助）によるものと考えられる。

	小学校	中学校	高校	大学 専門学校	その他 団体
2016	195	16	7	12	278
2017	274	19	25	34	412
2018	262	21	33	32	573
2019	268	25	29	30	589



県外教育委員会等職員研修

原子力災害を受けて県外に避難している小学校児童へのいじめ問題等への対応のため、福島県の現状を理解することを目的とし、横浜市や東京都の教育委員会、栃木県連合教育会が教職員を対象とした研修会をコミュタン福島において実施した。研修会では、コミュタン福島展示や福島県教育庁による県内の放射線教育の現状についての講義により、福島県の現状理解を深めた。

【横浜市教育委員会】

横浜市への避難児童へのいじめ問題を受けて実施
2017年度から2019年度までの参加者数 約150名

【東京都教育委員会】

2017年度から2019年度までの参加者数 約1,060名

【栃木県連合教育会】

2019年度の参加者 約240名